

アゾルガ配合懸濁性点眼液

【この薬は？】

販売名	アゾルガ配合懸濁性点眼液 (AZORGA Combination Ophthalmic Suspension)
一般名	ブリンゾラミド (Brinzolamide) チモロールマレイン酸塩 (Timolol Maleate)
含有量 (1mL 中)	ブリンゾラミド 10mg チモロールマレイン酸塩 6.8mg (チモロールとして 5mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、炭酸脱水酵素阻害作用と β 受容体遮断作用をもつ薬を2種類含む、緑内障・高眼圧症治療剤と呼ばれるグループに属する点眼薬です。
- ・この薬は、眼圧を調整する水分の産生を抑制して眼圧を下げます。

- ・次の病気の人に処方されます。
緑内障、高眼圧症（他の緑内障治療薬が効果不十分な場合）
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して点眼を中止したり、点眼量を加減したりすると病気が悪化することがありますので、指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアズルガ配合懸濁性点眼液に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・気管支喘息のある人、または過去に気管支喘息があった人、気管支痙攣（けいれん）のある人、重篤な慢性閉塞性肺疾患のある人
- ・十分コントロールされていない心不全のある人、洞性徐脈、症状の重い房室ブロックのある人、心原性ショックのある人
- ・重篤な腎障害のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・肺高血圧による右心不全のある人
- ・うっ血性心不全のある人
- ・糖尿病性ケトアシドーシスおよび代謝性アシドーシスのある人
- ・十分コントロールされていない糖尿病のある人
- ・角膜障害（角膜内皮細胞の減少など）のある人
- ・急性閉塞隅角緑内障の人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は点眼薬です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

1回量	1滴
点眼回数	1日2回

●どのように使用するか？

- ① 手をよく洗います。
- ② キャップを閉じたままよく振ってから使用してください。
(この薬は懸濁性点眼液で、成分が容器の底に沈殿する可能性があります。)
- ③ 容器の先が直接眼に触れないように注意して点眼してください。
- ④ 点眼後は1～5分間目を閉じて、目頭のあたりを軽くおさえてください。
- ⑤ この薬を使用後、他の点眼薬を使用する場合には、10分以上の間をあけてください。

[コンタクトレンズを使っている場合]

コンタクトレンズをはずしてから点眼してください。コンタクトレンズを付け直す場合には点眼後15分以上あけてください。(コンタクトレンズにこの薬の成分が吸着することがあります。)

●使用し忘れた場合の対応

- ・一度に2回分を点眼しないでください。
 - その日のうちに気付いた場合
 気付いたときに、1回分1滴を点眼してください。
 - 翌日に気付いた場合
 前日の分は点眼しないでください。
 いつもどおり1日2回、1回1滴を点眼してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・徐脈（脈がとぶ、脈が遅くなる）や息苦しさなどを感じた場合は、使用を中止し、受診してください。
- ・点眼後、一時的に眼がかすむことがあるため、症状が回復するまで機械の操作や自動車の運転等をしないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載したいくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
眼類天疱瘡 がんるいてんぼう そう	目の充血、目のかゆみ、目の異物感
気管支痙攣 きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
呼吸不全 こきゅうふぜん	息苦しい、息切れ
心ブロック しん	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
うっ血性心不全	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体

うっけつせいしん ふぜん	重の増加
心停止 しんていし	気を失う
脳虚血 のうきょけつ	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
脳血管障害 のうけっかんしょうがい	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
全身性エリテマトーデス ぜんしんせい	体がだるい、関節の痛み、発熱、顔に蝶型の赤い斑点

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気付いたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、むくみ、体重の増加、発熱、体がだるい
頭部	めまい、気を失う、立ちくらみ、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい
眼	目の充血、目のかゆみ、目の異物感
口や喉	突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	息がぜいぜいする、息をするとヒューヒューと音がする、突然の息切れ、息苦しい、息切れ
手・足	脈が遅くなる、突然片側の手足が動かしにくくなる、関節の痛み
皮膚	環状の赤い発疹、かさかさした角質を伴う赤い発疹

【この薬の形は？】

色	白色～微黄白色
1 ボトルの量	5.0mL
ボトルの形	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ブリンゾラミド、 チモロールマレイン酸塩
添加剤	ベンザルコニウム塩化物液、カルボキシビニルポリマー、チロキサポール、エデト酸ナトリウム水和物、D-マンニトール、塩化ナトリウム、pH調節剤 2 成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・保存袋に入れ、光と湿気を避けて、室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。
- ・開封後 4 週間程度経過した場合は、残りの点眼液を使わないでください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ノバルティス ファーマ株式会社

(<https://www.novartis.co.jp/>)

ノバルティスダイレクト

電話番号：0120-003-293

受付時間：月～金 9：00～17：30

(祝日及び当社休業日を除く)